

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場会社名 フタバ産業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐々木 康夫

TEL 0564-31-2211

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	266,030	△17.5	△1,344	—	△3,608	—	△17	—
21年3月期第3四半期	322,345	—	△6,079	—	△9,278	—	△17,001	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△0.25	—
21年3月期第3四半期	△243.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	255,460	49,196	14.9	543.45
21年3月期	257,525	46,375	14.3	524.81

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 38,018百万円 21年3月期 36,715百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	0.00	15.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	△9.3	△1,500	—	△4,500	—	△1,000	—	△14.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 70,049,627株 21年3月期 70,049,627株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 91,825株 21年3月期 90,202株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 69,958,479株 21年3月期第3四半期 69,961,897株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。

「参考」個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（％表示は通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	257,000	△5.8	△4,000	—	△5,700	—	0	—	0.00

（注）個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：無

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気刺激策の効果がみられ景気の減速感は弱まったものの、依然として個人消費は低調に推移いたしました。

当社グループの主要得意先であります自動車業界におきましては、各国の景気刺激策の効果もあり、回復の兆しが見えてまいりましたが、依然として厳しい状況が継続しております。

このような状況にあつて当社グループは、全社をあげた原価低減、業務の効率化等に取り組んでまいりました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は2,660億円と前年同四半期比17.5%の減収となりました。事業の種類別の内訳は、自動車等車両部品2,591億円(前年同四半期比16.2%減)、情報環境機器部品69億円(前年同四半期比46.6%減)となりました。所在地別の内訳は、日本1,931億円(前年同四半期比15.4%減)、北米309億円(前年同四半期比15.6%減)、欧州195億円(前年同四半期比50.4%減)、アジア335億円(前年同四半期比3.9%増)となっております。海外売上高は、873億円(前年同四半期比22.7%減)で全体に占める割合は32.8%となりました。

利益につきましては、営業損失は13億円(前年同四半期は60億円の営業損失)、経常損失は36億円(前年同四半期は92億円の経常損失)、四半期純損失は法人税等の更正による還付税額もあつて0億円(前年同四半期は170億円の四半期純損失)となりました。事業の種類別の営業損益は自動車等車両部品事業は15億円の営業損失(前年同四半期は66億円の営業損失)、情報環境機器部品が2億円の営業利益(前年同四半期比60.0%減)となつており、所在地別の営業損益は日本45億円の営業損失(前年同四半期は122億円の営業損失)、北米3億円の営業損失(前年同四半期は5億円の営業利益)、欧州7億円の営業損失(前年同四半期は14億円の営業利益)、アジアは営業利益41億円(前年同四半期比7.3%増)となつております。

2. 連結業績財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、たな卸資産の減少や有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べて20億円減少し、2,554億円となりました。負債については、短期借入金の返済や新株予約権付社債の償還などにより、前連結会計年度末に比べて48億円減少し、2,062億円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金及び少数株主持分の増加などにより、前連結会計年度末に比べて28億円増加し、491億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成21年11月11日に公表した業績予想を修正しておりません。今後の事業環境の変化および当社グループ業績の推移を見極め、変更があれば速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用しているものについては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

2 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降の経営環境や一部差異等の発生状況に著しい変化がないと認められることから、前連結会計年度において使用した将来の業績予測などを利用する方法によっております。

3 退職給付引当金

退職給付費用、数理計算上の差異の費用処理額、過去勤務債務の費用処理額については、それぞれ当連結会計年度に係る年間の費用処理額を期間按分して算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法等により計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループの継続企業の前提に関する重要な不確実性は、以下の理由により認められません。

前連結会計年度末において当社グループ各社において財務制限条項に抵触していたシンジケート・ローンにつきましては、債務返済および変更契約の締結により第2四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間において財務制限条項への抵触を解消いたしました。また、今後の資金需要についても各取引金融機関からは継続的な支援方針をいただいております。なお、継続した営業損失の計上については、当第3四半期連結会計期間に公表いたしました中期経営計画に沿って早期の業績回復を図ることにより早期に解消されるものと見込んでおります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,073	12,479
受取手形及び売掛金	48,396	42,861
製品	3,700	3,288
仕掛品	10,626	11,868
原材料及び貯蔵品	3,452	3,320
繰延税金資産	72	7
その他	7,912	9,848
貸倒引当金	△21	△31
流動資産合計	91,213	83,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,037	29,642
機械装置及び運搬具（純額）	69,375	67,717
工具、器具及び備品（純額）	14,864	16,403
土地	14,826	14,789
リース資産（純額）	394	419
建設仮勘定	8,261	22,615
有形固定資産合計	139,761	151,588
無形固定資産		
	553	511
投資その他の資産		
投資有価証券	19,273	17,114
繰延税金資産	775	778
その他	6,448	3,952
貸倒引当金	△2,564	△63
投資その他の資産合計	23,932	21,782
固定資産合計	164,247	173,882
資産合計	255,460	257,525

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,886	33,465
短期借入金	64,776	73,467
1年内返済予定の長期借入金	3,808	4,044
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	14,722
未払法人税等	1,225	500
役員賞与引当金	1	1
その他	15,654	21,783
流動負債合計	140,353	147,985
固定負債		
長期借入金	48,124	45,762
繰延税金負債	8,358	7,499
退職給付引当金	8,237	8,100
役員退職慰労引当金	54	116
持分法適用に伴う負債	—	843
その他	1,135	841
固定負債合計	65,910	63,163
負債合計	206,264	211,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	13,321	13,321
利益剰余金	9,338	9,376
自己株式	△145	△145
株主資本合計	34,334	34,372
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,064	4,377
為替換算調整勘定	△2,380	△2,034
評価・換算差額等合計	3,684	2,342
少数株主持分	11,177	9,660
純資産合計	49,196	46,375
負債純資産合計	255,460	257,525

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	322,345	266,030
売上原価	313,536	254,742
売上総利益	8,808	11,287
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	6,879	4,964
給料手当及び賞与	3,276	2,750
退職給付費用	141	133
役員退職慰労引当金繰入額	20	23
法定福利及び厚生費	496	424
租税公課	328	381
減価償却費	588	305
研究開発費	356	206
その他	2,800	3,441
販売費及び一般管理費合計	14,888	12,632
営業損失(△)	△6,079	△1,344
営業外収益		
受取利息	159	71
受取配当金	439	208
作業くず売却益	710	547
デリバティブ評価益	804	162
その他	376	557
営業外収益合計	2,490	1,548
営業外費用		
支払利息	2,289	2,120
為替差損	1,924	917
持分法による投資損失	508	75
その他	967	698
営業外費用合計	5,689	3,812
経常損失(△)	△9,278	△3,608

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
投資有価証券売却益	—	843
役員退職慰労引当金戻入額	—	85
補助金収入	62	—
デリバティブ解約益	200	—
受取補償金	—	451
その他	—	91
特別利益合計	262	1,472
特別損失		
減損損失	4,750	666
投資有価証券評価損	10	156
固定資産廃棄損	—	496
固定資産除却損	643	—
その他	1	243
特別損失合計	5,405	1,563
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,421	△3,699
法人税等	870	△5,036
少数株主利益	1,709	1,353
四半期純損失(△)	△17,001	△17

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

【追加情報】

平成19年11月に当時の子会社である株式会社ビジネスデザイン研究所に対する不正な金融支援に関して発行された手形5枚(額面合計1,500百万円)および同時に持ち出された未使用の手形用紙45枚については、岡崎簡易裁判所において権利を争う申述の終期を平成21年10月16日として公示催告が行われた結果、平成21年10月19日付けで除権決定されました。当該決定により、今後における損害発生リスクは十分に低減したものと見込まれます。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	自動車等車両 部品事業 (百万円)	情報環境機器 部品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	309,377	12,968	322,345	—	322,345
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	309,377	12,968	322,345	(—)	322,345
営業利益又は営業損失(△)	△6,693	613	△6,079	(—)	△6,079

(注) 1 事業の区分は、製品の使用目的及び販売市場等の類似性により区分しております。

2 各区分の主な製品

- (1) 自動車等車両部品事業 …… マフラー、エキゾーストマニホールド、サスペンションメンバー等
(2) 情報環境部品事業 …… 複写機、レーザープリンター等の精密部品

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	自動車等車両 部品事業 (百万円)	情報環境機器 部品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	259,105	6,925	266,030	—	266,030
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	259,105	6,925	266,030	(—)	266,030
営業利益又は営業損失(△)	△1,590	245	△1,344	(—)	△1,344

(注) 1 事業の区分は、製品の使用目的及び販売市場等の類似性により区分しております。

2 各区分の主な製品

- (1) 自動車等車両部品事業 …… マフラー、エキゾーストマニホールド、サスペンションメンバー等
(2) 情報環境部品事業 …… 複写機、レーザープリンター等の精密部品

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	214,749	36,645	39,466	31,484	322,345	—	322,345
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,504	5	3	813	14,326	(14,326)	—
計	228,253	36,650	39,469	32,298	336,672	(14,326)	322,345
営業利益又は営業損失(△)	△12,221	560	1,444	3,875	△6,340	260	△6,079

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …………… アメリカ、カナダ

(2) 欧州 …………… イギリス、チェコ

(3) アジア …………… 中国、インド

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	182,180	30,930	19,575	33,344	266,030	—	266,030
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,015	0	4	212	11,232	(11,232)	—
計	193,196	30,930	19,580	33,556	277,263	(11,232)	266,030
営業利益又は営業損失(△)	△4,550	△376	△727	4,158	△1,495	150	△1,344

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …………… アメリカ、カナダ

(2) 欧州 …………… イギリス、チェコ

(3) アジア …………… 中国、インド

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	38,825	39,818	33,501	779	112,925
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	322,345
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.0	12.4	10.4	0.2	35.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …………… アメリカ、カナダ

(2) 欧州 …………… イギリス、フランス、チェコ、ハンガリー

(3) アジア …………… 中国、インド

(4) その他の地域 …… オーストラリア等

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	32,185	19,699	34,793	625	87,303
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	266,030
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.1	7.4	13.1	0.2	32.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …………… アメリカ、カナダ

(2) 欧州 …………… イギリス、フランス、チェコ、ハンガリー

(3) アジア …………… 中国、インド

(4) その他の地域 …… オーストラリア等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

「参考」 四半期個別財務諸表

(1) (要約)四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産	57,695	57,125
固定資産	108,681	101,186
資産合計	166,376	158,311
負債の部		
流動負債	84,879	91,108
固定負債	49,277	36,586
負債合計	134,157	127,694
純資産の部		
株主資本	26,146	26,224
評価・換算差額等	6,071	4,393
純資産合計	32,218	30,617
負債純資産合計	166,376	158,311

(2) (要約)四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	225,716	191,570
売上原価	226,669	186,749
売上総利益又は売上総損失(△)	△952	4,820
販売費及び一般管理費	9,611	8,877
営業損失(△)	△10,563	△4,056
営業外収益	1,405	1,440
営業外費用	2,051	2,541
経常損失(△)	△11,209	△5,157
特別利益	200	1,011
特別損失	520	1,628
税引前四半期純損失(△)	△11,530	△5,774
法人税等	179	△5,697
四半期純損失(△)	△11,709	△6